

清友

No.165

2023年5月
(2023年5月9日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



奥多摩・浅間嶺の新緑



ビジョン・カーが登場
(映っているのは清水愛砂さん)



自治体退職者会のメンバー



メッセージ・ボード アピール

岸田政権は、反撃能力保有と大軍拡を実現し、憲法改悪に着手しようとしています。『あらたな戦前』に対する危機感が集会の基調になりました。メインスピーカーは、室蘭工業大学教授清水末愛砂さんと

「あらたな戦前」に危機感

憲法施行76周年の5月3日、有明防災公園で「23憲法大集会」が開催され、2万5千人が結集しました。

特に印象的だったのは清水末愛砂さんの発言。「多くの市民が物価上昇で厳しい生活を強いられているなか、政府は5年間で防衛費を43兆円にするという。非正規労働者は数十

軍拡は市民生活を踏みしめる

沖縄大学特別研究員泉川友樹さん。漫画家の東村アキコさんがビデオメッセージ。各氏とも、憲法を破壊し続ける政権を厳しく批判しました。

円の賃上げがかなわない。立憲主義の核の一つ公平な分配が否定されている。大軍拡は「小さな幸せ」を踏みしめる」と訴えました。

運動の再考も課題に

しかし、最近の世論調査では、軍拡賛成が60%に達しています。ウクライナ戦争や北朝鮮、台湾情勢等が影響しているとしても、考えさせられます。どういう運動をすべきか、課題が突き付けられているようです。



「あらたな戦前」にさせない！
改憲NO！大軍拡NO！
敵基地攻撃能力いらない！



6月6日**小石川後樂園周遊と
ホテル・ランチbuffet**

23春のフィールド
ワークは、東京の名
所「ハナシヨウブの
小石川後樂園」めぐ
りとランチbuffetです。

★小石川後樂園は見所満載★

水戸徳川の上屋敷（江戸初
期は中屋敷）、庭園は水戸黄門
光圀が造成。中国趣味と京趣
味に、名所を模した景観が配
置されたワンダーランドです。



小石川後樂園・菖蒲園



小石川後樂園・円月橋



東京都戦没者霊園

6月初旬はハナシヨウブの
時期、雨が降ればかえって風
情も増します。小雨決行です。
小石川後樂園周遊の前に「東
京都戦没者霊園」を批判的視
点で見学します。また、水戸
藩屋敷が明治期に砲兵工廠に
なった名残りも見られます。
▼ちよっと豪華なランチ▲
見学後のお楽しみ、今回は
ちよっと豪華に、飯田橋のホ
テルメトロポリタンエドモン
トでランチbuffetです。
参加費は小石川後樂園入園
料を含め2千円です。ただし、
アルコール類は自己負担とさ
せていただきます。皆さんの
参加をお待ちしてまゐります。
お早めに申込みください。

6月16日**第15回定期総会と懇親会**

政府は、5月8日、
コロナの感染症法上
の位置付けを通常の
インフルエンザと同
等に変更しました。

コロナ禍に伴う行
事・行動の制限は解除された
ので、退職者会の活動も、ほ
ぼコロナ前に戻せると思いま
すが、まだ安心はできません。

6月16日に開催する定期総
会は、できれば4年ぶりに総
会後の懇親会を行いたいと思
っています。みんなで集まり、

楽しい時間を過ごしましょう。
第15回定期総会は、

○日時 6月16日（金）

午前10時15分開会

○場所 清掃会館ホール

○会費 千円（懇親会を実
施する場合）

を予定。出欠連絡は、6月6
日頃までお願いします。

なお、懇親会開催は、東京
清掃が清掃会館での飲食を解
禁すればという条件付
です。結論が出たら、
改めてお知らせします。

**訃報****田原千十世さん逝去**

田原千十世さ
んが2月に亡くなったと、ご
遺族から連絡がありました。

田原さんは、好奇心旺盛な
好々爺という印象の方でし
た。元所属杉並東支部の仲間
から、出雲の出身で、清掃に
入る前は仕立て職人をやっ
ていて洋服をつくってもらっ
たという話を聞きました。

退職会には75歳で入会、
ウォーキングや落語の会に参

2016年5月
日比谷メーデーにて

加された
際、杉並の
仲間に誘わ
れたからと
おっしゃっ
ていて、律儀なんだと思
いました。ご遺族の話では「好
きなことを散々やってきた」
とのこと。昨年暮れ頃から体
調が優れなかったようです。
享年85歳でした。謹んで故人
のご冥福をお祈りします。

退職者会の皆さまのご支援ご協力を

東京清掃労働組合中央執行委員長 多田修一郎

改めて責任の重さを実感

3月19日に開催された第93回定期大会において、中央執行委員長に就くこととなりました多田と申します。

これまで、江戸川区担当中執を2期、3期目の途中から書記次長として専従になつて以降、副委員長、書記長と務め、今年度より東京清掃の委員長という大役を任されることとなり、改めて責任の重さを実感しています。これまで無我夢中でやってきましたが、ここで一旦これまでの経験を振り返り、その経験を活かして委員長としての務めを全うしていきたいと考えています。

社会的労働運動の強化へ

退職者会の皆さんにおかれましては、日頃より東京清掃に対して、温かい激励の言葉をかけて頂いていることに大変感謝申し上げます。また、コロナ禍において現職が集会

等に参加できない中、積極的に取組まれてきたことに敬意を表します。私どもとしましても、今年度のメーデーは、コロナ禍前に戻し、その他の取り組みについても、感染状況を注視しつつ以前の状態に戻していこうと考えています。

とりわけこの間、「安保関連三文書」を閣議決定し防衛費を倍増することや、沖縄の問題、原発再稼働の問題等々、国民の声をないがしろにする岸田政権は断じて許すことはできません。

コロナ禍において、清掃事業の継続に全力を傾けてきた組合員にも、改めてこうした社会問題に目を向けてもらい、平和を求める運動を構築していく必要があります。

新しい清掃事業も視野に

清掃事業については、昨年4月に『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』が施行されました。今後

二十三区において、製品プラスチックを含めた資源回収に向けて進み始めるもの

と思っています。しかし、都区財調においてこのプラ回収の経費が組み込まれていないため、ランニングコストをどうするかという問題や、二十三区全てがプラスチックを資源回収した際に、受け入れられる施設が足りない等、区だけで解決できない問題もあります。これは、組合としても東京都や環境省に訴えていく必要があります。併せて、その先にカーボンニュートラルやSDGsを視野に入れた清掃事業を考えていく必要があります。

今採用されている若い組合員が50代になる頃には、今と異なった視点や取組みが必要となつているかもしれません。こうしたことに、当局以上に私たちが関心を持ち、全国の清掃労働者と連携し、学習・研究していくことも重要です。



多田東京清掃委員長
(写真は東京清掃提供)

職務に見合う賃金水準を

最後に、昨年の賃金確定闘争において、現業職の賃金水準に関わる意見交換・研究の場を設置することが約束され、進められています。なぜ私たちが清掃の職員の賃金は、行政職より低くなければならないのかということから始め、職務内容に見合った賃金水準とするため、任用制度も含めた議論を進めていきます。今年度、区移管以降最多の18区と清掃一組で採用がありました。その受験者数は年々減少しているのが実態です。魅力ある職場にしていくには、職に見合った賃金水準とするとは不可欠です。多岐に亘る職務内容を持つ清掃職場に見合った賃金水準とするため全力を尽くしてまいります。

よろしく願います

課題は山積していますが、決意の一端を述べさせていただき、委員長就任のご挨拶といたします。退職者会の皆さんの引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

多摩労務管理事務所闘争完全勝訴!

府中緊急派遣村労働組合 郡司 實

労働法を守らない

トンデモく労務管理事務所

八王子にある多摩労務管理事務所は、市内で一番か二番の最大手社会保険労務士事務所です。歴史も古く、ロータリークラブの会長などの名誉職を歴任してきました。

労働者から搾取をした結果、土地も建物も自社ビルで駅前不動産も所持しています。

社会保険労務士は労働条件を定めた就業規則を作成します。従って、労働にかかわる法律を熟知している訳です。それにも関わらず、日常的にパワハラが繰り返され、残業代の不払いなどが恒常化し、従業員の8割が退職していくという、極めて異常な労務管理が行われていました。

労働組合を結成して闘い
地域の共闘で勝利を獲得!

田中理雄（みちお）さんが勇気を絞り労働組合を2017年に立ち上げました。所長は労働組合つぶしに躍起となり、田中さんと組合員になった坂

根操さんの2人を相次いで解雇したのが2020年でした。

3年近く争い、3月29日、東京地裁立川支部の判決が下されました。完全勝訴でした。私（郡司）が所属している府中緊急派遣村労働組合などで構成する支援共闘は、創意ある取り組みで闘いを支え、勝利することができました。おかしいことはおかしいと言おう当該の頑張りに拍手です。



解雇撤回を訴える当該組合員2人と筆者（郡司さん）

石川一雄さんは無実です。

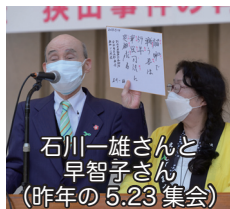
60年前の5月、石川一雄さんは、狭山で起きた女子高校生殺害事件の犯人にでっちあげられ逮捕されました。見込み捜査、違法な取調べ、そして、何より許せないのは、警察が証拠を捏造したことです。

無実を求める石川さんの再審請求は3度目。弁護団は証拠捏造等を科学的に明らかにした鑑定を提出し、証人尋問等の「裁判所による事実調べ」

を請求しています。

日本の再審制度は針の穴より細く不当です。裁判所と検察が同根の構造、税金を使っ

て集められた証拠を検察が隠し持つことなど、法の不備は国際的にも指摘されています。今年も5月23日に再審を求めらる市民集会が開かれます。石川さんは無実だ!



石川一雄さんと早智子さん（昨年の5.23集会）



百年前に発生し大災害を引き起こした関東大震災で忘れてはならないことは、朝鮮人、中国人、社会運動家などの大虐殺に民衆も多数加わった事実です。千葉県福田村Ⅱ現・野田市で起きた虐殺事件を通じ差別の本質を考えます。参加申込はまだ可能とのこと。

フィールドワーク案内

- 日時 5月28日(日)
8:20、清掃会館・出発
18:00、清掃会館・解散
(貸切大型バス利用)
- 場所 福田公民館(野田市)
事件現地など
- 参加費 2,000円
(バス代・資料代・昼食弁当代込み)

清掃・人権交流会フィールドワーク 差別に基づく虐殺、福田村事件に学ぶ



放射能汚染水を海に捨てるな！

4月12日、全労協脱原発集
会が「放射能の海洋放出強行
を許さない！」をテーマに、
全水道会館で開かれました。

全労協脱原発プロジェクト
の大上俊男さん(東京労組)と、
福島現地からの訴えとして狩
野光昭さん(いわき市議、フ
クシマ原発労働者センター代
表)が問題提起。狩野さんの
お話しを中心に報告します。

違法がまかり通る廃炉作業

福島第一原発廃炉作業の過
労死問題訴訟は、国と東電の
責任は棄却となったが、道義
的責任と再発防止等改善の必
要性が指摘された。廃炉作業
は違法がまかり通っている。
今後も監視を続けていく。

本来は行えない海洋放出

21年4月、国は福島第一原
発放射能汚染水の海洋放出を
決定した。この決定は、15年
8月に東電が県漁連等に「関
係者の理解なしに処分しない」
とした文書回答に反する。

国は処理水を希釈して放出

するから安全というが、東電
の排水運用方針では「1500bp
を超える水は希釈しない」と
明記しており、タンクの7・8
割は基準値を超えている。海
洋放出は本来できないはずだ。
希釈しても総量は変わらない。
放射能が海洋の生態系で濃縮
され、魚に蓄積する。一度流
せば、取り返しがつかない。

ALPS処理水の放射能汚泥
は保管場所が満杯に近く、稼
働できなくなる危険性がある。

県内60議会が反対または慎
重対応の意見書を出している。
あきらめずに闘い続ける。



大増税・軍拡反対！原発回帰反対！入管法改悪反対！ 岸田政権による悪法の数々を止めよう！

国会で、防衛力財源確保特
別措置法案、入管法改定案、
原発推進法案、マイナンバー
法改定案などの悪法が強行さ
れようとしている状況のもと、
4月の総がかり19日行動が国
会議員会館前で行われました。

悪法製造内閣を許さない

主催者は、「今国会で数々の
悪法がつくられようとしてい
る。この間、憲法に抵触する
法案に反対し闘ったが押し切
られてきた。憲法に立ち返っ
て時代をつくりなおさないと
いけない。そのためには政治
を変えないといけない」と呼
びかけました。

岸田は安倍よりアブナイ

市民からのメッセージで、
「若い女性を支えるシエルトー
活動が不当な嫌がらせを受け
ている。自己責任ではなく、
みんなが共生できる社会を目
指し、政治が変わってほしい」「G
X推進法は、脱炭素を理由に
原発を推進しようという悪法

だ。福島原発事故は終わって
いない。運転期間の延長、汚
染水の海洋放出とGX推進法
を止めよう」「入管法改定案の
中身は2年前に廃案になった
ものほとんど変わっていない。
国際的に批判を浴びている難
民受入れ1%未満の現状を改
善せずに強制送還しやすくす
るという悪法だ。絶対通して
はいけない」と訴えました。

岸田政権は安倍よりアブナ
イようです。許すな！悪法！



HIBIYA 94rd MAYDAY



5月1日、4年ぶりに人数制限なしの日比谷メーデーが開催されました。その中で、約400人が参加した東京清掃の青い作業衣姿は人数も多く、とにかく目立ちました。

集会では、物価高騰による生活不安、人権侵害、外国人差別を放置し、戦争する国へ突き進む政府を批判する発言が続き、現場労働者からの決意表明・訴えは、「正規・非正規連帯」「外国人労働者」「労働組合弾圧」「反戦平和」がテーマでした。しかも、マイクを握ったのは全員女性でした。

退職者会は21人参加。元気に鍛冶橋までデモをしました。



中央メーデー



第94回メーデー中央大会は、4月29日、代々木公園で4年ぶりに参加制限のない形式で開かれました。

芳野連合会長は、「労働者の7割が働く中小企業の賃上げが重要」「企業や政府等意見の違いを乗り越えた『社会対話』が必要」と呼びかけました。

8年ぶりに来賓として首相が登壇、岸田は賃上げを最重要課題としつつ「職務給導入や（首切り自由による）労働移動の必要性」を強調、合理化方針を示す挨拶に拍手って、会長挨拶含め大政翼賛会的？

中央メーデーに参加した退職者会メンバー

主催者

挨拶する岸田首相

岸田文雄
内閣府副大臣